

あわらし定例記者会見

平成22年11月25日(木) 10:00～

あわらし市役所 204会議室

1 市長施政報告

- (1) 第50回あわらし市議会定例会について
- (2) 2010年あわらし市10大ニュースについて
- (3) あ、わらってる川柳の募集について

2 12月のイベント、主な行事予定等について

11月25日 16:30～	第25次あわらし市日中友好親善少年使節団壮行式	(正庁)
11月27日 13:00～	食と農AWARAフォーラム	(JA花咲ふくい芦原支店)
11月28日 10:00～	複合福祉施設内覧会	(複合福祉施設)
11月29日 7:30～	第25次日中友好親善少年使節団出発	(市役所ロビー)
1日(水) 13:30～	民生委員児童委員委嘱式	(正庁)
5日(日) 13:30～	第7回あわらし男女共同参画のつどい	(中央公民館)
8日(水) 18:00～	えびす講	(ホテル八木)
19日(日) 10:00～	生涯学習推進大会	(文化会館)

～ 議会日程 ～

30日(月) 9:30～	第50回市議会定例会	本会議
6日(月) 9:30～	本会議(一般質問)	
7日・8日	総務文教常任委員会	
8日・9日	厚生経済常任委員会	
15日(水) 9:30～	議会運営委員会	
16日(木) 全協終了後	本会議(委員長報告、採決)	

2010あわらし 10大ニュース

順位	タイトル	月	説明
第1位	住みたいまち、住みたいまちの実現に向けて H E E C E 構想事業スタート	4月	健康(Health)、教育(Education)、環境(Environment)、コミュニティ(Community)、経済産業(Economy)の各分野でユニークな施策を展開するH E E C E 構想。「若い世代が、住み、生き、育てたくなるまち」の実現に向けて、今年度21の事業がスタートしました。 主な事業は次のとおりです。 ・おばあちゃんの味 ・日本列島縦断チャレンジウォーク ・子ども医療費の助成対象年齢の拡大 ・第3子以降の保育料無料化 ・市民活動サポート助成金事業 ・芸妓の全国公募(伝統芸能継承者育成事業)
第2位	あわらし観光協会がパワーアップ	4月	あわらし観光協会が、えちぜん鉄道あわらし湯のまち駅舎内に移転。一般社団法人格を取得するとともに、スタッフも一新し、着地型旅行商品の企画販売を行うなど、観光都市「あわらし」の牽引役としての活躍が期待されます。
第3位	旧芦原庁舎が複合福祉施設としてリニューアル	11月	平成19年の市役所庁舎統合以来閉庁していた旧芦原庁舎が、複合福祉施設としてリニューアルしました。1階には芦原南幼稚園と芦原北幼稚園を統合した芦原幼稚園が、2階には子育て支援センターとシルバー人材センターのワークプラザが配置され、平成23年4月のオープンを待ちます。
第4位	芦原温泉芸妓協同組合の検番が全焼再興に向けて関係者一丸	5月	5月26日未明、芦原温泉芸妓協同組合の事務所が全焼。一時は存続も危ぶまれましたが、伝統芸能を守るという支援の輪に支えられながら、関係者一丸となって再興に取り組んでいます。平成23年春には、あわらし湯のまち駅前に新しい事務所が完成予定です。
第5位	子育て支援課を新設	4月	少子高齢化時代に対応し、あわらし市独自の手厚い子育て支援策を展開していくため、市民福祉部に子育て支援課を新設しました。住んでよかったまち、生んでよかったまち、育ててよかったまち、これからも住みたいまちの実現に向けてスタッフ一同が取り組んでいます。
第6位	総合型地域スポーツクラブ あわらしトリムクラブ設立	2月	だれでも、いつでも、どこでもスポーツに親しむことのできる環境の実現を目指して、総合型地域スポーツクラブ「あわらしトリムクラブ」が設立されました。現在400人を超える会員が、和気あいあいと楽しみながら、健康づくりに取り組んでいます。
第7位	自然の力をエネルギーに 稼働準備が進む風力発電施設	10月	電源開発(株)が、北潟地区で建設を進めてきた10基の風力発電施設が10月上旬に完成。総出力20,000キロワットの施設が風を受けて生み出す電気は、あわらし市全世帯の消費電力を賄うことができます。本格稼働は、平成23年2月の予定です。
第8位	狂言「金津地蔵」ふるさと公演	10月	狂言の演目として400年以上の長きにわたって演じられてきた「金津地蔵」。金津を舞台にした日本の伝統芸が、野村万作氏によってあわらし市へ里帰りしました。文化会館を満員にした650人の観客が、人間国宝の名演を通してよみがえる当時の金津に思いをはせながら、狂言の魅力を堪能しました。
第9位	農家の強い味方 ねこの手クラブが創設	4月	高齢化などの理由で人手が足りない農家を支援するための組織「ねこの手クラブ」が、あわらし市農業サポートセンター内に創設されました。現在、43人が会員として登録され、農家の求めに応じて、野菜や果物の収穫、作付け前の畑の準備や苗の植え付けなどの作業を行っています。
第10位	エコ市民会議発足	3月	市民自らが環境を考え、エコを実践する市民組織「エコ市民会議」が発足しました。H E E C E 構想ともリンクしながら、エコファミリープラン、グリーンカーテン、子ども自然教室などの事業を展開し、市民の目線で環境に優しいまちづくりを応援します。